

栃木県那須烏山市にある龍門の滝（写真）。高さ20㍍、幅65㍍、滝の中段には男釜（おがま）と女釜（めがま）という二つの縦穴があり、「大蛇が住む」とも「龍神が現れ、願いをかなえる」とも言われる。

滝と一緒に、春は桜、秋の紅葉、冬には雪景色といった四季折々の風景を望むことができます。

また、滝の上がIR烏山

来春の統一地方選挙勝利をめざし、日本共産党京都左京地区委員会(会)は20日、京都市左京区で、府・市議4候補がそろい初の街頭演説を行いまた。府議1議席と市議選で前回失った1議席奪還で3議席をめざします。 府議選(定数3)の、みづが敦彦候補1現1と、	市議選(定数8)の加藤あい、とし喜新一いずれも現1の両候補、新人の、かたの里美候補が決意を表明。53年間看護師をつとめた、かたの候補は、医療の切り捨てが続き、かつて奈良県などで妊婦の救急受け入れ先がなく悲劇が起きたことを告発。さらなる医療費削減を批判し「お金の心 みづが府議は「府議会で配せず医療にかかれる京都をつくる」と強調しました。みづが府議は「野党でも市議会でも唯一の野党として自民党政治と対峙したいい」して政治。深刻な物価高なのにあまりにも経済対策がない。左京から府議1人、市議3人を押し上げて自民党政治に審判を」と訴えました。
---	--

藤野氏 長野駆け要求対話・集い

日本共産党の藤野保史元衆院議員は20日から、長野県内の集いや街頭で「飛躍期間」成功に向けて4日間、キヤラバンを開始した。初日は飯田市の集いからスタート。4日間で7カ所の集いに取り組み、街頭費税減税が心配です」と思いました。

集いは農家や介護士、護施設の利用者など19人が参加。膝をつき合わせて交流しました。つめて参加した農家の男性（50代）が「円安で資材が高騰して大変。財源が示されないままの消費税減税が心配です」と思

ることも知ってもらいたいです。リアルに話す機会を増やしましょう」と訴え入党を呼びかけました。

2日目 21日は岡谷市で早出すみ子市議と二階行動。40代の2人が入党し

悪政と正面对決
公共を取り戻す



さるキャラバンです。

飯田市の集いでは来春の統一地方選に触れ、一国の悪政と真正面から立ち向かい、ゆがみを正す日本共産党の躍進が必要」とあいさつ。公共を取り戻すなどの党政策を語りました。

藤野氏は、大企業や富裕層に課税する党政策は道理があると識者、首長に広がっていると述べ、一党をま

もつと高市首相と対決してもらいたい」「右傾化が心配」などと要望、意見が出されました。

方選へ
の風を